

Discover

文化系

- 1) 高地と低地のマインドの差
- 2) 子供が人懐っこい(山の方)
- 3) 高地での農民の能力が高い(ある一定以上の標高以上、飛び飛びに見られる)
- 4) 高地の農民がまじめ
- 5) 山にはIndegenous Knowledgeが残っている
- 6) 高地ではとうもろこしと豆科の混植が見られる
- 7) 高地に比べるとDiliにはIndegenousな文化が感じられない
- 8) 観光資源等の資源のポテンシャルが高い
- 9) 生活に宗教が根付いている
- 10) マーケットが街道沿いに一日ずつずれて開かれている。

←誇りを持たせる

環境系

- 1) 自然環境が厳しい
- 2) 環境の悪化の原因は人為的なもの(長い歴史の中で)
- 3) 環境と庶民の生活／意識とが離れすぎている
- 4) 高地と低地で事情が違う
- 5) 北側の山には木がない
- 6) 低地でも南と北はまったく様相が違う
- 7) 混植が先祖代々行われている(高地)
- 8) 水資源のあるところ(高地)は竹の水道管をひくなどの工夫がなされていた
- 9) 雨の降らないところは貯水のための工夫が必要
- 10) 家畜の利用価値をあげる
- 11) 未利用資源が多い
- 12) 今あるものの栄養価値を高める(米など)
- 13) オーストラリア大陸棚の一部、ユーラシアン・プレートとぶつかり4,000万年前から隆起が始まり、400万年前に現在に似た形になった。主成分は石灰岩。
- 14) 山の上まで化石がある。
- 15) 森林率は50%

保健系

- 1) 人口増加率3%
- 2) 医療設備不足
- 3) 生活用水を桶にためおきする習慣はマラリアを引き起こす原因になっていないか？

教育系

- 1) 子供の就学を最優先させる親が多い
- 2) 識字率が低い(50%;特に年代の高い人)
- 3) 栄養教育のプライオリティーが低い
- 4) 農民のマインドを変えるのは困難、ターゲットは子供たち
- 5) マングローブの苗をさかさまに植えてしまうなど、知識が不足している面がある

女性系

- 1) Domestic Violenceの発生率が高い
議員定員88名中、22人が女性
- 3) 農作業他、仕事に男女差が見られない

市場系

- 1) コーヒーは大事な産業
- 2) 一次産品での輸出はもったいない(コーヒー、キャンドルナッツなど)
- 3) コーヒーはせめてパーチメントの段階まで持っていき、買い叩かれないようにする
- 4) コーヒーに依存しすぎ。生活に必要な食料の生産が不十分。
- 5) タイスマも未利用資源
- 6) 魚の価格が高い
- 7) 米の農業技術が低い
- 8) インドネシアのお米が安くて味がいい
- 9) 中国のお米が安い(現地米の半額)
- 10) マーケットにきのこがあった(高地)
- 11) 土地所有(コーヒー農園等)が不明確
- 12) 油田の影響

←外国との交流の可能性

←Indegenous Knowledgeの発掘、調査報告書を
東ティモールの人へ向けて発表

←Civil Warの引き金になる可能性？

NGO系

- 1) 自分の意見、Visionを持った人材が存在する
- 2) 現地NGOでしっかりした団体がある
- 3) Peace Windsの活動が意外と地道
- 4) World Visionの現地スタッフが大型農機具(トラクター等)に頼るばかりが脳でないことをわかっていた
- 5) NGOは現状にあわせて軌道修正が効くFlexibilityがある
- 6) Peace Windsの農場、1年で土の状態が非常によくなっている
- 7) 国際NGOはいずれ撤退するので現地NGOを育てる必要があると、認識しているNGOがあった。

8) 現場レベルで連携がある(WV, PWJのスタッフがOISCAで農業研修を受けるなど)

行政系

- 1) LetefohoのGovernorはしっかりとしたVisionを持っていた
- 2) 政府機関の“三種の神器”
 - ①irrigation
 - ②food security
 - ③transportation
- 3) ドナーの調査結果(ニーズ調査)に頼りすぎているのでは？
- 4) Suaiの農業局担当が管轄している地域の状況(人口、学校の教育等)を把握していない
- 5) Suaiの街の様子が痛々しい
- 6) 農業省のVice Ministerは全体を把握していた

ドナー系

- 1) UN景気、物価高
- 2) “援助銀座”
- 3) 外国の援助がばらばらに入り方向性が定まらない？
- 4) JICAのirrigation: 水が干上がっていた
- 5) JICAの鯉の養殖: 現場を見ただけではこのプロジェクトのそもそもの目的自体がわかりにくかった
- 6) JICAの道路修復: 山肌を削ったままで終えており、雨季には危険な状態になっている

←開発の方向性は自分たちで見出してほしい

Dream

環境系

- 1) 植林(海、山):道路を守る
- 2) 環境教育
- 3) 東ティモールにおける植林の必要性を周知させる
- 4) 東ティモール政府向けワークショップ+植林活動のイベントを定期的実施
- 5) 環境に関するVision Sharingをするためのワークショップ
- 6) かまどづくり
- 7) “水の使者”プロジェクト(ハンドポンプ設置隊)
- 8) 日本の学生のための東ティモール縦断ツアー

2月調査

農民の能力開発系

- 1) 東ティモールのコーヒーブランドの確立
 - ①コーヒーのポテンシャルを高める=完全加工の技術
 - ②コーヒーグッズのお土産品開発(コーヒー染め、コーヒー繊維の紙など)
 - ③コーヒーに関する詳細調査
- 2) 東ティモールのおいしいお米ブランドの確立
- 3) 農場指導:ミニ・モデル農場
- 4) 山間部の花をDiliで販売
- 5) Indigeneous Knowledgeの調査→東ティモールへ紹介

文化交流系

- 1) タイスに外国のセンスを入れる←国際的な価値のあるものに
- 2) アイファリーナ・キャンペーンin Japan←キャッサバへの偏見をなくし、様々な食べ方で楽しむ方法を開発
- 3) 料理の仕方指導←ちょっとした工夫で栄養面での改善
- 4) 在日東ティモール大使館Opening Ceremonyに協力
- 5) ケナフ工房の設立(紙漉き、染物)
- 6) HASATILのExpoに出展

JANARDの新たな方向性・プロジェクト:

- 1) JANARD Mission報告会 in 東ティモール
- 2) ODA評価をJANARDで受ける

←2月18日実施

灌漑 Agree
1) 天水に頼る一期作しかできない
2) 農業に水は必要
3) 水不足を訴える農民がいた
4) 季節に関係なく一定の水量の確保
5) 水供給の公平性
6) 緑化
7) 雇用の創出

食料保障 Agree
1) 人間は食べなければ生きていけない
2) コーヒーに偏り、食べ物を輸入している
3) 米、質が低く値段が高い
4) 健康に生きたいのはあたりまえ
5) 海外に頼りたくない
6) 農薬によって遺伝子組み換えで地球上の人口の食いぶちが支えられている

輸送 Agree
1) 南でできたものを北に運べない
2) 輸入を余儀なくされている
3) 道路のコンディションが悪い
4) モノの分配効率
5) 頼みの換金作物が運べない
6) 人も行き来できない(教育、医療、食料保障に支障をきたす)

But...
1) 成功していない
2) 調査不足(地質調査)
3) 効率が悪い
4) 小規模感慨ならOK
5) 井戸掘り+植林が必要

But...
1) 明日の食べ物が確保できなければだめ。長期的な視点の欠如(5年度の食料不足)
2) implementationに問題あり(農薬、化学肥料、機械化)
3) 換金作物に対する期待が高すぎる
4) 健康でなくなる
5) 農業ビジネスに支配される?自分の手の届かない産業に手を出している。現状でGlobal経済に巻き込まれるのは危険。
6) 貧富の差:8億人が飢えている一方で、8億人が成人病にかかっている現実。
7) 体外受精の問題など、遺伝子学はパーフェクトではない。人間に操作できるものではないことが実証されている。

But...
1) 環境破壊を招く
2) 自給できないところに道路があってもしょうがない。優先順位、バランスが必要。地元のものなのに農民がそれを食べられるくなる。Diliへ流れてしまう。
3) 別の不公平を生む
4) 誰のため?の視点がかけている
5) 人間さえしっかりしていれば問題は解決。教育援助は必須。